

表6 昭和63年度(財)福島県文化センター事業実施状況

区分	事業名(対象)	期 日	場 所	内 容
自主事業	交響楽の夕べ (一般)	11月10日(木) (1日1回)	県文化センター 大ホール	(演奏) 大阪フィルハーモニー交響楽団 (指揮) 尾高 忠明 (ソリスト) 花房 晴美 (曲目) ◎バーバー/弦楽のためのアダージョ ◎グリーグ/ピアノ協奏曲イ短調作品16 ◎ブラームス/交響曲第1番ハ短調作品68
	少年劇場 (児童・生徒 学校単位の参加)	6月1日(木)~ 6月18日(土) (16日間21回)	福島市、会津若松市、 郡山市、いわき市、白 河市、原町市、須賀川 市、喜多方市、相馬市、 川俣町、田島町、下郷 町、船引町、富岡町、 南郷村、(伊南・館岩 ・楡枝岐の4村合同)	移動文化センター事業として県内15会場を巡回公演。 (出演) 劇団青年座 (演目) 「ブンナよ木からおりてこい」
	親子劇場 (幼児童の親と子)	7月10日(日) (1日2回)	県文化センター 大ホール	等身大のぬいぐるみ人形によるミュージカル劇 (出演) 劇団飛行船 (演目) 「孫悟空」
	福島県洋舞の祭典 (青少年・一般)	4月17日(日) (1日1回)	いわき市平市民会館	県民参加による舞台芸術発表事業 (出演) 福島県洋舞連盟所属団体の生徒 300名
	福島県吹奏楽トップ コンサート (青少年・一般)	5月29日(日) (1日1回)	いわき市平市民会館	県民参加による舞台芸術発表事業 (出演) 昭和62年度福島県吹奏楽コンクールの上位 入賞団体 6団体
	福島県三曲演奏会 (青少年・一般)	5月29日(日) (1日1回)	県文化センター 大ホール	県民参加による舞台芸術発表事業。箏曲・尺八・三 弦の邦楽演奏 (出演) 福島県三曲連盟各支部会員 250名
	文化講座 (一般)	(郷土史) 7月30日(土)~ 8月21日(日) (6回講義) (放送利用) 年間	(郷土史) 三春町公民館 (放送利用) 県文化センター	(郷土史) 福島大学教授 小林 清治先生ほか (放送利用) 高度な学習欲求に応えるため、テレビ 番組等を利用した学習講座を開設する。 ① 文学 ② 東洋史 ③ 法学
	文学講演会 (一般)	11月12日(土)・13日(日) (2日2回)	二本松市文化センター 県文化センター 2階会議室	(財)日本古典、文学会との共催による実施 (講師) 東京大学文学部教授 森川 昭先生
	地方史研究講習会 (図書館・資料館 等職員他)	12月2日(金)・3日(土) (2日間)	県文化センター 2階会議室	~近世農村の開発と水の問題~を中心として (講演) 「近世の新田開発と治水」 (予定) 明治大学教授 木村 礎先生
	古文書研究講習会 (図書館・資料館 等職員他)	8月26日(金)・27日(土) 63年1月中旬	鹿島町公民館 県文化センター	(講師) 郡山女子短期大学教授 高橋 哲夫先生 ほか
展示	近世農村と水展 ~福島の開発と堰~ (一般)	10月12月 (2ヶ月間)	県文化センター 歴史資料館展示室	福島県内の近世に開墾された主要な用水に関する資料 を展示公開する。 古文書・古記録・絵画・屏風・絵馬・器材類等
	映画教室 (一般) (児童の親と子)	(一般向) 奇数月第3日曜 (児童向) 夏休み中毎週土曜	県文化センター 視聴覚室 小ホール	(一般向) 社会教育・歴史・科学等の文化映画及び 劇場用名画の上映 (児童向) 自然科学・道徳教育・漫画映画を夏休み 期間中に「夏休みこども映画教室」として 実施する。
	地域文化振興協力事業	年 間		文化情報・資料の収集、これらの蓄積を通じ文化事 業に対する協力体制の充実を図る。 市町村等が行う文化活動の助言・情報提供を行う。
委託事業	家庭劇場 (小・中学生とそ の家族)	(音楽公演) 9月27日(火)~29日(木) (3日間4回) (児童劇公演) 10月11日(火)~25日(火) (13日13回)	(音楽公演) 桑折町、古殿町 山都町、磐梯町 (児童劇公演) 月館町、鏡石町 平田村、石川町 浅川町、東 村 鮫川村、泉崎村 表郷村、会津高田町 金山町、只見町 広野町、	(音楽公演) (出演) ミュージカル、アカデミー (演目) ミュージカル、アカデミー歌のひろば (児童劇公演) (出演) 劇団さっぽろ (演目) とべとべヒーローキ、Z型2号
	移動芸術祭 (一般)	(会津若松市) 9月14日(木) (1日1回) (二本松市) 11月4日 (1日1回)	会津若松市民会館 二本松市文化センター	文化庁移動芸術巡回福島県公演一覧のポスター作 成と広報活動を行う。 (会津若松市) 邦舞 花柳寿輔ほか日本舞踊協会 (二本松市) 歌舞伎 中村雀右衛門ほか 松竹大歌舞伎

昭和六十三年年度の美術館事業の概要
および予定は次のとおりである。

1、企画展
(1)「巴里の詩ーパスキンとエコール・
ド・パリ展ー」
パスキン、ローランサン、シャガール
ら今世紀前半パリで活躍した画家た

ちの作品百三十点を展示した。
(2)「近代日本の陶芸展」
加藤唐九郎、北大路魯山人ら五十六
作家の作品約百六十点により、明治の
初めから今日までの日本の陶芸の展開
を辿り、作家の造形意識、及び陶芸観
の変遷を浮き彫りにした。

(3)「近代ヨーロッパ版画名作展」
近代ヨーロッパ版画の魅力と歴史を
デューラーからピカソ、シャガールま
で、著名な作家の代表的作品約六十
点により紹介した。
(4)「黒田清輝展」
明治、大正期の日本洋画をリードし

た黒田清輝の初期から晩年に至る画業
を、東京国立文化財研究所の所蔵品約
百四十点により回顧した。
(5)「現代日本画展」
日本の伝統を受け継ぎ、技法や表現
の上で、さまざまな展開を見せる現代
の日本画を、代表的な作家の作品約九